

ZANDEN Model 120 の展開(87) ーベーターヴェンを聴き直す(22)ー

1. 始めに

前報(86)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。今回は、ベーターヴェンの交響曲第 3 番とコリオラン序曲を選定しました。

DG MG-2009

交響曲第 3 番変ホ調作品 55 「英雄」

コリオラン序曲作品 62

カール・ベーム指揮ベルリンフィル

これらは、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(38\)](#)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

ドイツグラモフォン盤なので、TELDEC、逆相、第 4 時定数 Mid で聴いていきます。

ベームらしい、緻密で構成のしっかりした「英雄」です。それぞれの楽章の表情は的確に表現されています。

コリオラン序曲は、悲劇的なストーリーを予感させるような表情で展開しますが、ここでもベームらしい、緻密で構成のしっかりした演奏が聴かれます。

4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上